ドイツ語発展講座

科目責任者：能　登　慶　和　（語学・人文教育部門）

Ⅰ．前　　文

本講座は，ドイツ語の基礎課程を修了した学生を対象とし，より実践的な技能を身につけることを目標とするドイツ語の特別講座である。１．日常ドイツ語会話，２．ドイツ語技能検定試験対策の二科目を開講予定。担当者等の詳細は後日通知する（少人数クラスが予想されるため，履修者の要望に可能な限り応える）。

Ⅱ．受入可能人数

人数は制限しない

Ⅲ．担当教員

能　登　慶　和，寺　田　雄　介（語学・人文教育部門）

Ⅳ．学習内容

１．日常ドイツ語会話：第１学年の基礎をもとに，ヨーロッパ言語共通参照枠のＡ１～Ａ２（基礎）レベルを目指し，更なる日常会話表現を学ぶ。日常における身近な話題や活動のやり取り，あるいは短い社交的なやり取りをすることを目標とする。

２．ドイツ語技能検定試験対策：ドイツ語技能検定試験（通称：独検）４～３級を目指して過去問等に取り組む。発音および文法項目の基礎に加えて簡単な日常会話の表現についても学ぶ。復習をしっかりすること。

＊その他，学生の要望に応じて適宜対応する。

Ⅴ．学修の到達目標

１．日常ドイツ語会話

・日常における実践的な会話表現を身につけ，現地で応用することができる。

・外国語による積極的なコミュニケーション能力を身に付ける。

２．ドイツ語技能検定試験対策

・ドイツ語の発音および文法の仕組みが一通りわかる。

・簡単な会話表現およびテクストを理解することができる。

Ⅵ．成績評価の方法・基準

学習内容に関連したごく簡単な口頭試験や筆記試験によって評価する。

Ⅶ．使用する教材・資料など

担当者が講義で指示する。必要があれば辞書を貸し出す。

Ⅷ．質問への対応方法

随時受け付け可。ドイツ語研究室（基礎棟３階）に来て質問しても良い。

Ⅸ．求められる事前学習，事後学習

事後学習としてLMSで課した課題を毎回20分程度復習すること。

Ⅹ．コアカリ記号・番号

Ａ－７－２

Ⅺ. 課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法

課題は適宜返却し，その都度コメント等を付与する。

Ⅻ. 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

＊◎：最も重点を置くDP　　○：重点を置くDP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能，種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い，他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療，予防について原理や特徴を含めて理解し，他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け，正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け，患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け，患者やその家族，あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	
	書籍や種々の資料，情報通信技術〈ICT〉などの利用法を理解し，自らの学修に活用することができる。	○
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち，専門的議論に参加することができる。	
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち，実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し，自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け，自らの行動に反映させることができる。	◎
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け，他者との関係においてそれを活かすことができる。	◎
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け，他者との関係においてそれを活かすことができる。	○